

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本糖質学会
※	日本化学会
※	日本神経免疫学会
※	日本再生医療学会
※	日本脂質生化学会
※	日本Cell Death学会
※	細菌学会、人類遺伝学会
※	園芸学会、育種学会、植物学会
※	日本蛋白質科学会、日本エピジェネティクス研究会
※	放射線影響学会宇宙生物科学会
※	日本応用動物昆虫学会、日本動物学会
※	日本内分泌学会
※	日本化学会日本蛋白質科学会
※	日本物理学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	RNA学会
※	日本植物学会
※	日本再生医療学会
※	日本プロテオーム学会、日本植物バイオテクノロジー学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本薬学会
※	日本放射線影響学会
※	日本実験動物学会
※	日本バイオイメージング学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	記述なし

質問5-10. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	シンポジウムの質疑応答時間が全体的に短いと思います。
※	レコーディングして後日見れるようにしてもらえると有難かった。
※	中国からのオンライン発表中に3度ほど接続が切れて進行が滞った。
※	分子生物学的、疫学的なコロナウイルスの流行を統括するようなセッションが聞きたかった。(発表者はなかなか大変だと思いますが。)
※	学会中に予定がぎっしり入ってしまい、オンラインで参加することさえできなかった。オンデマンド配信があると有難い。見たかったです。
※	ハイブリッド開催は大変画期的で、これからも続けて欲しいと思いました。先駆的な年会となったと感じます。年会自体も大変スムーズに進んでいました。
※	年会長の挨拶が最低だった。政府や官庁の人達が寝ないでコロナ対策をしているのに、3回目が遅いとかで、揶揄する様な記載があり、驚いた。そもそも、海外のワクチンに頼らざるおえなかった責任の一旦は我々研究者にもある。国の責任ばかり言っていてはダメだ。良い結果を積み重ね、国にも働きかけて、対処できるよう頑張っていくべき時に、一生懸命やっている方々を小馬鹿にする様な発言があってはならない。
※	今後はオンラインも併用して行う形式を希望しています

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ワークショップの質疑応答時間が全体的に短いと思います。
※	会場の参加者の映像も流していただいた方が、質疑応答を行いやすいと思いました。顔が見えなかったので、どんな方が分からず、緊張していたので、お名前なども覚えられませんでした。
※	レコーディングして後日見れるようにしてもらえると有難かった。
※	セッションの中に、『未発表データが含まれるため、オンラインでの発表はしない』というものがあつた(オンラインの発表が切断された)。今回はハイブリッド開催が決まっていたはずであり、現地参加とハイブリッド参加で区別をするべきではない。問題なくハイブリッド開催できるようにオーガナイザーが事前に調整すべきである。
※	ワークショップの時間は135分枠と90分枠があり、不揃いだと移動等で不便を感じた
※	似たテーマが同じ時間帯に設定されているとどちらかが聞けなくなってしまうので分散してほしい。
※	オンライン参加者の質疑の時に、スライドかオンライン参加者かどちらかしか表示されないのは回答時に示したい情報を示せず、残念であった。また、オンライン参加者に対して、会場での参加者や質問者など、会場の様子がわからない状況であったことも改善点である。
※	学会中に予定がぎっしり入ってしまい、オンラインで参加することさえできなかつた。オンデマンド配信があると有難い。見たかつたです。
※	似たテーマのものが同じ時間枠で開催されていたように思う聞きたいものが複数あつて困つた日と、興味の薄いセッションしかなかつた日があつたもう少し散らしてほしい
※	今後はオンラインも併用して行う形式を希望しています

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ディスカッサーこなかったですが、何か登録が必要だったのでしょうか。
※	オンライン発表にはディスカッサーが来なかったので残念だが、ハイブリッドでは難しいと想像する。
※	オンラインだと、ディスカッサー制であったことがわからなかった。
※	あえてしなくてもいい。何か不自由。
※	ディスカッサーの存在を知ったのは学会終了後だった。
※	ポスター賞を設ければディスカッサー制はいらないと思う。
※	オンラインでディスカッサーはまともに機能していなかった。
※	ディスカッサーから、「聞かないといけない感」がでていたので、正直盛り上がらなかった。この制度に疑問を感じた

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	私はオンラインでの参加だったため、オンサイトで発表している人とは、zoomで直接お話しできず、ただただポスターを眺めるだけで面白くなかった。
※	検索の仕方の問題があったのかもしれないが、控えていたポスター番号を一覧から探そうとすると番号が見つからないことがあった。番号だけで検索できるシステムがあると良かった。また、googleスケジュール等に移行する機能もあったが、気になった番号をクリックするだけで自分のスケジュールが作成できる機能(数年前はあったと記憶している)があればより便利だったと思う。
※	オンラインのポスター発表で意見交換しようにも、マイクとスピーカーが繋がらなかった。zoomや他のオーディオは大丈夫だったので、サイト特有の問題だと思われる。発表の機会を奪われ、残念だ。
※	ポスターをオンラインで確認することが、数が多くて難しかった。
※	ポスターの説明が今回のように発表者と参加者が同じ画面を見れないと、なかなか難しい。オンラインで複数のポスターを複数のタブを開けてみると、viewerとしてカウントされてしまうのは、発表者からすると紛らわしい。オンライン学会に限らないが、ちゃんとポスターのデータをuploadしてない参加者がいるのは困る。現地参加者のポスターは、説明が聞けないので残念。今後もハイブリッド開催をする場合は、ポスター発表動画の登録は希望者だけでなく、全員義務としてはどうか？
※	解像度が悪くてよく見えなかった
※	オンラインだと聞けないものがあったり、どれがオンラインか等もわかりにくかった。
※	オンサイトとオンラインは完全に分断されていた。
※	スペースの問題かもしれないが、一部のオンサイトでのポスター発表において奇数番号同士、偶数番号同士のポスターが隣り合ってしまったのは問題だと思う。またオンサイトで参加していた場合、オンラインでのポスター発表者と討論することが困難に感じられた。
※	オンサイトとオンラインの同時実施は無理でした。オンライン参加は別の専用時間帯で実施すべきでした。
※	オンラインからポスターを閲覧しようとしたが、エラー表示が出て閲覧できなかった。
※	オンラインの学会サイトに非常に問題があり、大幅な改善を望む。
※	奇数偶数で発表を分けても、オンラインで番号が飛んでいるところが多いため、ポスター発表の際に、発表するポスターが真横にあり、スペース的に気を使わざるを得なかった。分けた意味が半減してる気がする。オンラインでいなくても空間あいていると助かった。それが、発表制度を偶数奇数じゃなくするか。
※	ポスタープログラムの発表が、もう少し早くして欲しかった。もしくは、事前に具体的な日程を示してほしかった。その為、直前にポスタープログラムを確認することになった。
※	現地参加するとオンラインのみのポスターを見る余裕がない。現地かオンライン、どちらか一方を見るという形式になってしまった。さらにオンラインサイトが使いづらくまた動作も重い為、ポスターをまともに見れていない。オンラインポスターは全く機能していないという認識。
※	現地で、取り下げ等で当日、発表時間が同じポスターが並んでしまっていたため、自分のポスターに辿り着けなかった。オンラインとオンサイトの両方のポスターを同じ時間で行うとどちらか一方しか対応できない。
※	オンラインでの発表者が少なく、コメント欄での議論はほぼ出来なかった。オンサイトとは別にオンライン専用の時間を用意して、オンサイト参加者にもアクセスを促すようにすると良かったと思う。
※	オンサイトの参加者は、オンラインの発表を聞くことは難しかった。
※	ポスター会場の混雑が通常よりかなり解消されていたのはよかったオンラインでのポスター視聴は難しいと感じた。会場だと一巡して発表を見渡すことができるがオンラインだと時間がかかって困難。掲載期間を長くしてほしいと思った。スクリーンショット等によるコピー対策も必要に思う。
※	ポスターがオンサイトとオンラインが混在しており、オンサイトで奇数番号が続くなどしてかなり人が密になっていた為、間隔をあけるなど配慮して欲しかった。
※	偶数番号あるいは奇数番号同士が隣同士になっているところもあり、発表がやりづらかった。
※	意見交流場の場所が分かりにくい見ただけの人と議論したい人で分けられるのは良かったと思うが、議論しようと思っても、やり方が分かりにくかった
※	会場での発表も後日ポスター形式で見られると良かった。
※	学会は未発表データをもとに議論することができる良い機会であると思っているが、未発表データをオンラインで発表することに若干の抵抗がある。簡易版の資料をアップロードして、詳細は発表者にメール等で聞く形式はどうか？
※	オンラインで質問をいただいたが、ポスター表示画面に行かなければ返事ができなかった。サイトを立ち上げたところに質問が来ていれば表示されると思っていたので、メールに気づいてからも返事の返し方がよくわからなかった。
※	前半のセッション発表者が時間を超えて質疑応答をされるのは構わないが、後半発表の隣のポスターの前も使って行うことはやめてほしいと思った。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可>※今年の年会では2日目に一日通してほとんどの会場で一日中英語セッションが行われるようにし、その他の日程も常にどこかの会場で英語のシンポジウムが行われるようにプログラム編成しました (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンラインだと家庭事情もあり、夕方帰宅して晩御飯づくりや子供の世話があるため、夕方6時以降の講演は全くみれなかった。
※	onlineconfシステムは良くなかったタイムテーブルは発表題名の表示が一部しか表示しない時点ですごくわかりにくかったです。アプリのままでよかったです。
※	英語の質疑応答で痛々しいセッションが多かったので、英日徴用で臨機応変の対応が良いと思います。
※	現地だったが忙しく自分の発表しか行けなかったため、回答できず。すみません。
※	英語でやる意義は理解するが、同時に国内の学部生・院生などが英語では何もわからず時間の無駄に終わることもありうる。日本の学会であるということをもっと意識してほしいし、学生を置いてけぼりにしないよう配慮してほしい。母国語を大事にしない日本の学会の意義は理解できない。
※	ワークショップでの発表直前の時間帯にポスター発表があったため早く切り上げねばならず、別日に設定していただけると、ポスター発表も余裕を持って制限時間いっぱい議論することができたと思う。
※	オンラインで参加できたことで会場がいっぱいで入れず諦めることや、時間が遅いために参加を諦めるセッションがなく聞きたいものを聞いたことは良かった。ただOnline confが見つらなかった。

質問10. フォーラムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述(参加されたフォーラムの感想を含めて)
※	フォーラムは、とてもよかった。ただ、発表内容をレコーディングして後日見れるものもあったので、それ自体はよかったのだが、あらかじめ知らせてくれれば、同時進行の別のフォーラムに参加できたのが残念。どのフォーラムもとても興味をひかれた。
※	現地だったが忙しく自分の発表しか行けなかったので、回答できず。すみません。
※	AlphaFoldのセッションは為になった。
※	時間が遅かったがオンラインで参加できたため聞くことができて良かった。



質問11. 年会・学会の企画や取り組みについて、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	学会のプログラムが紙ベースで欲しい、難しいようでしたら、またスマホ/タブレットアプリを復活させてほしい!!!
※	オンライン参加だったため、恩恵にあずかれない企画が多くて、とても残念だった。これほどまでにオンサイト参加者の割合が高いと知らなかった。
※	ポスター会場に充電器がなく、PC絵のプレゼンの発信、受信に不便。
※	学会方の学会に対する思が述べられた冊子を作るぐらいなら要旨集を作ってほしかった。
※	抗原検査サービスや安心ステッカーなど前もって知らされていたが、行ってみたら安心ステッカーを発行してくれる場所がどこなのかわからず利用できなかった。多分ステッカーを貼っている人が少なかったのはそのせいだと思う。対策としては良いと思うので、もう少しわかりやすく案内が欲しかった。

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー(横浜会場・オンライン会場)について<複数回答可>  
(要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	わざわざ氏名、所属を追記しないと参加できないのは面倒だった
※	オンサイトで参加したが、参加企業が少なく直接話を聞きたいと思っていた企業がなかったのが残念だった。

質問13. 年会の発表言語について(本年会では、シンポジウム:英語、ワークショップ:オーガナイザーに一任) <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	全部英語でいいと思う。学生の教育にもいいのではないか？基本的に英語だからわからないということはないと思う。
※	英語だけでよかったと思います。
※	ポスターも含めて全て英語化しても良いのではないかと思う。ポスターで日本人同士が議論するような場合には日本語を使えば良い。
※	現地だったが忙しく自分の発表しか行けなかったので、回答できず。すみません。
※	すべて英語というのは国際学会でやればよい。日本の学会であるという立ち位置を見失わないでほしい。
※	一部の座長が、大体決まった普通の英語を話すだけなのに、まどろっこしいのは進行上問題である。英語がまともに話せなくても定型のセリフを事前に準備できるし、もしそれができないのであれば参加者全員の時間が無駄になるので英語講演での座長をしないほうが良い。
※	英語か日本語かはセッションごとに分かれていたほうが良い。英語セッションと日本語セッションがバランスよくあるとよいと思う
※	英語発表にこだわりすぎている。日本国内の研究者が多く集まる会で、第二言語である英語を用いて議論するというのは適切ではないと思われる。
※	国際化のために英語でというのはわかるが、質疑が盛り上がらないのが残念。また分生は大きいので専門外の分野に関する勉強や情報収集も目的なので、そういう異分野の内容を聞くには日本語の方がいいと感じる。

質問14. 年会の視聴サイトや、各種マニュアル・ビデオ通話機能を用いたポスター発表の体験会開催といった事前の対応、当日のトラブル対応など、ハイブリッド年会のオンラインサポート体制についてお聞きします  
 <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	視聴予定の公演をウェブ上に保存できるシステムが欲しかった。Googleカレンダーに保存はできたが、時間がかかるため。また、ブラウザバックに読み取り時間がかかった。詳細を見る際に、新規のブラウザの立ち上げなどあれば嬉しいと思いました。
※	オンデマンドがあるほうが助かります
※	サイトが全体的に動作が重く感じられたので、今後は軽量化を目指してもらえるとより使いやすくなると思う。
※	とにかく使いにくかった。演題や発表者を探すことが困難だった。以前の学会アプリの出来が良かっただけにストレスがたまった。
※	視聴サイトのタイムテーブルが重かった。人数が多いとレスポンスが悪い。現地で見逃したセッション、現地、オンラインともに同時に行われていて参加できなかったセッションを聞くための見逃し配信を行ってほしい。
※	ケータイで非常に使いにくい。検索機能がひどい。今までのアプリが良かった。zoomのURLを付けるだけでいいのでは？onlineポスター発表はディスカッサーが対象者全員を周り、ディスカッサーが聞いている発表がわかるようにしてほしい(オンラインでのポスター視聴者を増やすように)。
※	現地だったが忙しく自分の発表しか行けなかったため、回答できず。すみません。
※	ポスターは見づらく感じた。
※	視聴サイトはこれまでのWEBアプリなどと比較してかなり使いづらく。不便であった。冊子もない、サイトもまともに使えない(使いづらくなくても一緒)ということから、プログラムも要旨もほとんどわからない状態で参加していた。
※	ブックマーク機能があると嬉しい(あったのかもしれませんが使い方が分かりませんでした)。
※	ポスター発表のビデオ通話機能は、Macの場合、最新版のsafariかChromeでないと使えなかったのが不便だった。最新版のsafariに変えるにはOSごとアップデートしなければならないため利用できなかった。オンライン視聴時、一部のセッションでspeakerの映像が発表スライドと重なって表示されていたためスライドが観られないというトラブルがあったが、zoomのchat機能が参加者には許可されていなかったため指摘のしようがなかった。座長の一人はオンライン参加とするなど、チェックが機能する仕組みが欲しかった。
※	オンサイト参加なので視聴はポスターを見るくらいですが特にトラブルは無し。ポスターの登録も問題なし
※	特になし
※	大変良い。
※	発表者としてオンラインで受けた質問がトップページに表示されず、気づくのが随分と遅くなった。質問を確認するのも返事を返すのも登録データのところまで行かなければならずわかりにくかった。事前のリハーサルを受けていないので質疑への対応がサポートされていたのかは不明。

質問15. 年会オンライン視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きます <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	プログラム検索がわかりづらい(いまだにどこに要旨があるかわからない。)
※	プログラム検索機能が少し使いにくかった。
※	検索してお気に入り登録できるのは良いが、それを日付順、発表時間順などでソートしなおせる機能があると、なお良いと思う。また、プログラムにマークできる機能があるとよい。
※	視聴サイトの発表資料PDFに加えショートトーク動画も事前に登録できる機能、視聴サイトのプログラム検索・要旨閲覧機能については非常に使いづらい。例年のアプリのほうがまだ良かった。
※	onlinecofは使いづらかったです。
※	オンラインの視聴サイトの使いづらさが最悪だった。
※	受信側と発信側のどちらに問題があるのかは定かではないが、Zoomはしばしば接続不良となってしまう不満があった。
※	プログラム検索に機能不足があった。検索ワードで出てくるはずの発表が出てこないなど。要旨、題名、英語、日本語すべてひとまとめにしたものに対して高度な検索ができるようにしてほしい。
※	現地だったが忙しく自分の発表しか行けなかったため、回答できず。すみません。
※	全般的に使いにくく、よかった点はない。
※	すべて他の学会のツールなどに劣る。良かった点はひとつもない。
※	Zoom自体は安定していて良かった。視聴サイトは要旨を見るのにリンクを辿らないといけないのが不便だった。
※	便利だと思うがもう少し軽いとよかった。検索プログラムは改善の余地あり
※	特になし
※	無い
※	ワークショップの一般採択者としてポスター発表を義務付けられたが、ポスター一覧にも演題が表示されていない(該当番号は飛ばされていた)上オーラルのページからのリンクもなく、検索しないと見つけられない状態だった発表させておいて、わざわざ見つけられなくすることにどんな意図があったのか激しく疑問非常に失礼
※	よかったと思うものは無かった
※	Online Confは使いにくかった。プログラムを見ただけで見たいものにチェックをして自分が選んだものについてのみプログラムを再編成したり、スケジュールをまとめて表示したり、要旨を確認できる方が良い。いちいちタイトルから要旨を開かないとお気に入り登録もスケジュール登録もできないのは不便。デザイン的にもお気に入り感がわかりにくかった。また前もってタブレット対応の動作確認をして欲しかった。遠方から行く場合や1日中持ち歩くことを考えるとPCを持ち歩く必要があるのか無いのかわからないのは結構負担が大きい。

質問16. 本年会は、長引くコロナ禍で先の見通しが難しい中、オンサイト開催に基軸を置いたハイブリッド開催の準備を余儀なくされ大きな支出が見込まれる一方、協賛企業の出展が相当数減少しました。そこで本年会では経費節約のため年会プログラム集冊子や年会アプリ、オンサイト会場で配布していたポケット判プログラムを作成しませんでした。またそれに伴い、会員の皆様にはプログラム集冊子に同封発送していた学会会報(年3回発行)の11月号も印刷版作成を見送っています。これらについてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	とにかくポスター発表の検索の動作が重く使い勝手がよくなかったと思います。また、演題登録時に発表者にキーワードを複数書いてもらい、キーワードで演題を検索できるようにするなどができるとより探しやすくなるかと思います。
※	視聴予定機能をつけて下さい
※	上記項目3. 4. にチェックをしましたが、良いアプリがあれば、全てPDF版でも良いと思います。何をどうすれば、経費をどれだけ削減できるのか、が明確になれば、参加者の理解も得やすいと思います。ただ、今回のオンライン参加した身では年会費が高いと感じました。
※	紙媒体は必ずしも必要ではないが、視聴サイトが使いにくかった。
※	全部オンラインで構わないが、交通費等の研究費支出のため、発表者のページには発表日時などを入れて欲しい。
※	オンラインで見れるのは良いが、日程表、タイムテーブル、セッション・ポスターの内容を示すPDFファイルが、ホームページ内のそれぞれのページに分かれてしまって、探すのに毎回ページを切り替える煩雑さがあった。学会プログラムのPDFファイルを一括でダウンロード出来る様にして欲しい。
※	プログラム検索・要旨閲覧機能がオンサイトでは役に立たなかった。
※	充実したアプリがあるならば冊子がなくてもよいが、今回はまともなアプリもサイトもない、冊子もないとのことで、何もわからない状態だった。
※	SDGsの観点からも紙媒体を減らすのは良い取り組みだと思います。
※	プログラム等が日程別になっていたのも便利だったが、多くのpdfを行き来する必要になったのは手間だったので、ある程度まとまったpdfも用意しても良いと思う
※	電子版があれば冊子は不要だと思う。あとになって見返すこともあるのでPDFはしっかりしたものが欲しい。要旨集のPDFはページが多すぎて検索に時間がかかった。
※	紙媒体はこれからも必要だと思う。
※	プログラムがすごく見にくかった。ポスターなどは、オンサイト、オンラインごとにまとめて欲しかった。
※	最低だった。
※	会報の冊子版は希望者にのみ配送する形で良いと思う
※	上記、Online Confの不便さが改善するならアプリがあった方が良いと思う。
※	視聴サイトに入らないとプログラム検索ができないのは不便だった

質問17. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	シンポジウムなどはオンデマンドにして欲しいです
※	ポスターセッションはオンサイトとオンラインの時間帯を分けてください。
※	オンラインに資料をアップロードすることを拒む発表者がいることは事実なので、オンラインでは結局ポスターや資料が見れていない。やる意味がない。
※	オーラルをオンラインで視聴できるのはとても便利だった一方、ポスターはオンラインだといまいちだと感じました。
※	養育すべき子供のいる研究者にとっては、オンライン参加はとても助かります。
※	オンラインはどこにいても参加できる点がメリットだが、実際はオンライン参加しても結局実験でちゃんと聞くことが難しいと感じる。今回は幸いコロナが収まっていたためオンサイト参加したが、やはりポスター会場でいろんな人と会話できるのは勉強になるし、思いがけない情報を入手できるので完全オンラインは望まない。一方、規模が大きい分生では会場に入れないとか会場移動に時間がかかり聞き逃すとか諦めることが多々あったので、オンライン参加できることでオンサイトでも会場にこだわらず聞きたい演題を聞いたのはとても良かった。

質問18. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	スクリーンショットやスクリーンレコードなどPC上で記録する場合は認知できるのかもしれませんが、別途スマートフォン等で撮影してしまえばバテずに記録できてしまうのでは、という懸念は捨てきれないため、未発表データを長期間見られる形で残すことにはやはり抵抗があります。
※	シンポジウム・ワークショップの事後配信は期間限定ならよいと思う。口頭・ポスターいずれの発表でもある程度の複製対策はしてほしい
※	ダウンロードできない仕様になっていても写真を撮ったり、スクリーンショットができるので、簡易版のみアップロードし、詳細はメール等で直接聞くという形式はどうか。
※	ダウンロードできなくても写真撮影はできるので未発表データを出すことに抵抗がある。口頭発表、ポスターともに未発表データの場合は事後配信や期間中掲示し続けることに関しては発表者に選ばせて欲しい。この懸念が付きまとうので正直発表しづらくなっている。



質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会的あり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	発表者によってはスクリーン上の文字がかなり小さく見にくいことがあったため、Zoom等で配信してもらえることで自身のPCでも見ることができたのは良かったです。Q18の問題との兼ね合いが難しいところではありますが同時視聴可能な形式は残していただきたいと思いました。ポスターセッションの奇数、偶数切り替わりの際に長引いてしまい、後のセッションに食い込んでしまって回りに回る時間が少なくなってしまうという事がありましたので、5-15分間程度休憩または切り替えの時間を設けていただけるといいなと思いました。
※	オンラインの方が、パラレルセッションであってもセッション間の遷移が楽であり、また快適な状況で参加でき、大変ありがたいです。
※	タイムテーブル、検索ともに使いにくかったです
※	オンライン参加の選択肢が残ることは、大変有難い。今後、コロナが落ち着いても、参加者の多様性を維持するためにも考慮し続けてほしい。
※	webサイト、検索が使いにくかった。口頭発表、ポスター発表が分かれて、参加者と発表者もそれぞれ検索しないといけなくて、使いにくい。プログラムとタイムスケジュールもリンクしてなくて、細かい要旨を見るために別のPDFを開かなければいけないキーワード検索も使いにくい
※	両方経験してみてポスターは(混雑していなければ)現地の方が、オーラルはオンラインの方が見やすかった(立ち見になる苦痛や画面が遠いことなど)。現地の場合は色んな人に会える良さはあった。どちらにも利点があるのでハイブリッドは続けてほしい。
※	オンラインでするならばもっと動きの早いアプリでないと意味がない。事前のテスト期間で、利用者が少ないにもかかわらず非常に動きが遅かったので、今回はアプリを現地で使わず済むようにして当日を迎えた。
※	オンラインの視聴が使いづらい点がある一方で、PC上でセッションの視聴できる便利さも感じた。今後もハイブリッド開催を続けて、より参加者が参加しやすい学会になってほしい。また、学会プログラム冊子の廃止は賛成です。
※	ここ数回、「いつもよく見る人たちの、いつもよく見る研究内容を聞かされている」と感じることもあったが、今回は非モデル生物を使った素晴らしい研究例が多く、面白かった。難しいことかもしれないが、新しい面子を取り込めるような工夫があると、毎回参加したいという気持ちが高まりそうです。
※	オンラインの方が直接議論できる分、オンラインで参加した他学会と比べ、新たに得られた情報が多く、共同研究につながるような会話も進み、有意義だったように思います。
※	課題もいくつかあったものの、この規模の学会でのハイブリッド開催は他学会にとっても良い前例となったと思う。何よりまだ一度もオンライン学会を経験できていなかった学生の皆さんに、学会を経験させてあげられたことは本当に良かった。今回のハイブリッド開催が無ければ一度も経験することなく卒業することになっていた学生さんも多くいたと思う。運営の皆様にも心よりお礼申し上げたい。
※	ハイブリッドはよかったです。今後も続けてほしいです
※	大変良い年会でした。ハイブリッド開催は画期的で、続けてほしいです。
※	プログラムが見にくく、やる気の無さを感じた。
※	ポスター発表では偶数・奇数番号が隣り合っていたところもあったので、一定の距離を確保して発表することは困難であった。会場面積にゆとりがあったので、間を置いてポスターを配置すると良かったのではないかと。ポスターは現地発表に限ると改めて感じた年会だった。一方、ワークショップやシンポジウムは聴講のみだったが、オンラインで十分できると思った。オンラインだと、海外研究者も気軽によべるのではないかと。(時差の問題はあるが)。分子生物学会はここ数年で国際化が急速に進んでおり、私のような若手研究者が海外を意識する良い機会となっているので、今後も国際化を進めてほしい。
※	感染状況が落ち着いており久しぶりにオンライン参加できました。規模が大きいために準備は大変だったと思いますが、ハイブリッド開催良かったです。参加方法決定がギリギリまで変更可能だったことも助かりました。早めに決める必要が求められていれば、不参加かオンラインにしたと思います。オンライン限定と比べ聞き逃すとか諦める演題がなく聞きたいものは聞けました。対応は大変だと思いますが、上記項目にも記入した通り、質疑は英語のみに限定せず活発な議論ができる余地を残すとか、事後配信やポスター掲示も内容により発表者に選択の余地を与えるという自由度がある方が良いように感じます。会場ではwifiはほぼ問題なく繋がりましたが、椅子とコンセントがもう少し欲しい。密を避けるため会場内の椅子が減らされていたけれど、会場外の椅子はあまり増えてなくてどこもいっぱいでした。コンセントを充実させると充電器を持ち歩く必要がなくなり助かります。久しぶりに楽しい学会でした。ありがとうございました。